

博物館展示論

自由

開講年次：3年次後期

科目区分：講義

単位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：展示の歴史を通じて、手法の発達やその応用での教育活動の在り方を基本とし、博物館種別における展示形態を理論的に理解させ、それらの展示に関わる知識と技術を指導し、効果ある博物館展示の機能に関わる基礎能力と、優れたデザインへの感性を養う。

博物館における展示が果たす教育的役割を基調とし、展示の諸形態の対応できる発想力と創作力を講義や実習で行い、知識や技術を有効に活かすことを学ぶ。

- 到達目標**：①展示に係わる基礎知識と技術を習得する。
②展示の機能と優れたデザインへの感性を養う。
③展示諸形態に対応した発想で創作実習する。

■**担当教員**：

亀谷 隆

■**授業計画・内容**：

- 第1回 コミュニケーションとしての展示について
- 第2回 欧米諸国と日本の博物館展示の歴史について
- 第3回 博物館における調査研究と展示について
- 第4回 展示が果たす政治性と社会性について
- 第5回 博物館展示の諸形態について
- 第6回 展示企画とデザインについて (1) -発想と企画-
- 第7回 展示企画とデザインについて (2) -設計と制作-
- 第8回 展示、施工の実例について
- 第9回 展示資料の貸借、協力に関する業務について (他館、所蔵者、専門業者等)
- 第10回 展示構成、動線計画について
- 第11回 展示の照明、演出について
- 第12回 展示と保護について、野外展示について
- 第13回 展示の解説について (文字、人、機器による解説、図録)
- 第14回 展示の実地見学 (札幌芸術の森美術館、野外美術館)
- 第15回 展示の評価と改善・更新について

■**教科書**：

■**参考文献**：『博物館展示の理論と実践』 里見親幸著 同成社

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
レポート	○			①展示に係わる基礎知識と技術を習得する。	20%
		○		②展示の機能と優れたデザインへの感性を養う。	20%
			◎	③展示諸形態に対応した発想で創作実習する。	20%
出席	○	○	○		40%

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：博物館概論、博物館資料論、博物館資料保存論、博物館教育論

■**その他 (学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：博物館における展示は重要であり広い視野で、関連する分野の知識や技術を習得し、個性ある展示への試みと評価を経験するのが望ましい。